

パネル展示・オープンハウス実施について

1. 目的

(仮称)国分寺市地球温暖化防止行動計画(市域版)の策定に向けて、地球温暖化問題や国分寺市の温室効果ガス排出量の現状、市民アンケート結果の概要について周知を行い、市民意識の醸成を図るとともに、市政に馴染みのない市民も含め、様々な年代や職業の市民へご意見を伺うため、パネル展示及びオープンハウス型説明会を実施しました。

2. 開催概要

(1) パネル展示

開催日時：令和5年4月20日(木)～4月24日(月)

各日午前9時～午後10時

開催場所：cocobunji WEST 5階 まちの魅力発信コーナー

実施方法：

- ・地球温暖化問題や本市の温室効果ガス排出量の現状、市民アンケート結果の概要等について記載したパネル11枚を展示
- ・意見提出用のQRコードを掲載し、市民からの意見を募集
- ・市議会議員選挙の期日前投票(4月21～22日)の投票会場付近に展示することで、より多くの市民に閲覧してもらえよう配慮した。

(2) オープンハウス

開催日時：令和5年4月22日(土) 午前10時～午後4時30分

開催場所：国分寺駅北口駅前広場

実施方法：

- ・上記(1)と同内容のパネル展示を実施し、来場者は自由にパネルを閲覧
- ・来場者の関心に応じて、スタッフがパネルの内容の補足説明や質問への回答を行った。
- ・パネル展示に対する意見や提案などを来場者に付箋に記載してもらい、意見貼付用パネルに貼付した。

3. 実施結果

(1) オープンハウス来場者数

51名（午前19名，午後32名）

(2) 来場者からの意見・提案

収集した意見数：23件

表：来場者からの意見一覧（主な意見概要）

再エネ・省エネ等について
<ul style="list-style-type: none">○再エネ・省エネのお金がかかっても効果が高いのであれば，補助をして導入していく方が良い。お金がないから諦めるのはよくない○節電に取り組んでいきたい○家の中の電気製品の消費電力の見える化をすると意識が高まるのでは？○市民エネルギー会社を実行したい○再エネに市も市民も一緒に取り組んでいく必要がある。都市農業も残すべき。○発電所をつくってほしい○海外の広大な土地でウルトラ・メガソーラ基地を日本が作って，関西大学が発明したカレーのルーのようなアルミのパックに充電し，そのアルミホイル蓄電池を日本に運び，2か月に1回郵便局が交換する取組を行ったほうがよい（特許出願済）
現状や取組の情報について
<ul style="list-style-type: none">○中学生でもできる取組が分からないからもっと知りたい○市区町村単位で，できることってどんなことがあるかがわからない（国レベルのイメージが強い）○気候変動の影響が年々強くなっていると感じている。市域で何が起きているのかが知りたい○私たち一人ひとりは何をやればよいかわからない
取組への意識について
<ul style="list-style-type: none">○個人個人ができることは何か，考えていきたい。節電 etc.○大事なことだと思う。○できることからコツコツと生活に取り入れていきたい○みんなで脱酸素に取り組みたい
ごみの分別・リサイクルについて
<ul style="list-style-type: none">○ごみの減量，分別を頑張りたい○リサイクルを進める必要がある
その他
<ul style="list-style-type: none">○税金上げて人が少なくなれば排出量が減る

(参考) 当日の会場の様子

<パネル展示>



<オープンハウス>

